

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 県営林提案型施業モデル事業費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林保全課 水源林保全係 電話番号：058-272-8496

E-mail：c11519@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25,080 千円 (前年度予算額： 25,417 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	25,417	0	0	0	333	0	0	0	25,084
要求額	25,080	0	0	0	648	0	0	0	24,432
決定額	25,080	0	0	0	648	0	0	0	24,432

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・ 明治39年以降平成18年までに森林資源の培養と県土保全を図り県の基本財産を造成するために22箇所、約4,000haの山林を取得した。
- ・ 明治41年以降昭和55年までに土地所有者との間に締結した収益を分けあう分収契約に基づき、120箇所約3,900haの造林を実施した。
- ・ 県営林の森林資源が充実し木材利用可能な8齢級以上の森林面積（人工林）が98%以上を占めている。
- ・ 県営林では効率的な森林施業の実施と森林が持つ多面的な機能の発揮のため5ヶ年の施業運営を明記した森林経営計画を策定し、計画的に施業を行う。

(2) 事業内容

- ・ 森林資源を有効活用するとともに、森林の整備を通して公益的機能の維持・発揮を図るため、県営林及び周辺森林を一体的に整備する。
- ・ 林業事業体から森林整備や木材生産に関する提案を受け、最も優れた提案をした林業事業体と森林施業基本協定（6年間）を締結し、森林技術者の新規雇用・育成・定着を図るとともに路網整備から木材生産までを一体的・効率的に実施する。

実施地区 継続：揖斐地区（H30～R5）
 丹生川地区（H30～R5）
 金山地区（H31～R6）
 久々野地区（R3～R8）
 根尾地区（R4～R9）

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 林業事業体が行う森林整備事業に対して国庫補助金を除いた残金を県が負担することにより事業を実施する。
負担率：県費10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	25,080	林業事業体への負担金
合計	25,080	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

6年間の協定に基づき債務負担行為を設定する。

(2) 事業主体及びその妥当性

事業主体：林業事業体

県の所有する県有林及び森林を地上権設定した県行造林において、より効率的な森林施業を行うことを目的に、プロポーザル方式により林業事業体から提案を受け実施するため。